

プレスリリース
2025年2月6日

報道関係者各位

**共創デザイン学科の学生が、義肢装具のデザイン提案で
WELL-BEING TECHNOLOGY 2025 に出展しました**

女子美術大学(杉並キャンパス:東京都杉並区、学長:小倉文子、以下本学)は、産官学連携プロジェクトの一環として、芸術学部共創デザイン学科の学生が、株式会社 LUYL(所在地:埼玉県川口市、代表:布施田祥子)と協力し、義肢装具の新たなデザインを提案、2025年1月29日(水)～31日(金)に東京ビッグサイトで開催された「WELL-BEING TECHNOLOGY 2025」の超福祉ブースに提案モデルを出展しました。

装具とは病気や怪我などにより手や足などの体の部位に、痛み・損傷・麻痺など生じたときに、治療や症状軽減を目的として装着する器具を指します。本プロジェクトでは本学共創デザイン学科の学生が、若い女性をターゲットとした装具の新たなデザインを提案しました。実際に装具利用者向けの靴を製造、販売している株式会社 LUYL から利用者の実態を伺ったり、装具を製造している会社への見学などを行なったりしながら「装具利用者にとっても好みのデザイン」をそれぞれ検討し試作を行い、提案モデルを12月開催の「エコプロ 2024」、1月開催の「WELL-BEING TECHNOLOGY 2025」に出展しました。



また、プロジェクトメンバーの学生が「渋谷のラジオ シブコネ」の「超福祉ラジオ」のコーナーに出演し、展示作品について説明を行いました。

渋谷のラジオ シブコネ:<https://note.com/shiburadi/n/n396b41713104>
(24:00～頃 学生による説明)

共創デザイン学科 WEB サイト:<https://co-lab.joshiibi.net/>

本件に関するお問い合わせ先
女子美術大学 総務企画部 広報グループ
prs@venus.joshiibi.jp